

編集 後記

■今月は、標題に「情報管理」の語を含む記事を2本掲載しました。いずれも知的財産の創出に関連した「証拠(Evidence)」の管理について述べています。

■本年7月1日付で公開された「時を貫く記録としての公文書管理の在り方」(<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/koubun/>)の冒頭の「基本認識」には「(公文書を)作成⇒保存⇒移管⇒利用の全段階を通じて統一的に管理していくことが大きな課題となっている」と記されています。「公文書」に限らず「証拠」となる情報の管理が、いま課題となっていると感じます。知的財産保護の観点からも重要です。

■一方、本誌の誌名『情報管理』の主題領域は、「情報の収集、組織化・加工、保管・蓄積、検索、伝達・配賦・提供、およびそれらの全体にかかわる管理・運用などのすべて」(『図書館用語集 三訂版』2003年「ドキュメンテーション」の項より)を含みます。

この領域を扱う専門職が、情報専門職(information professionals)です。「情報の管理」に留まりません。

■今秋開催される情報プロフェッショナルシンポジウム2日目午前の「トーク&トーク」では、情報専門職の教育・研修を取り上げます。本誌に案内を掲載しました。どうぞ奮ってご参加下さい。(KM)

訂正

vol.51, no.5「サイエンスコミュニケーションと図書館」p.329の謝辞においてお名前に誤りがありました。

誤：日本科学未来館の羽田野晶子さん

正：日本科学未来館の羽田野佳子さん

お詫びして訂正いたします(『情報管理』編集事務局)。

『情報管理』誌では、国の内外から広く投稿原稿を受け付けています。日ごろのご研鑽の成果を執筆されて、本誌に発表されることをお待ちしております。

□ 次号予定

- 特許情報の戦略的活用について～旭化成における戦略的データベースの構築とその活用～
- 民博服装・身装文化(コスチューム)データベースの拡がり—研究支援ツールnihuONEへの移植—
- 次世代OPACの可能性
- ライフサイエンス分野における引用文献データベースの比較と有用性(後編)：—Web of Science 対 Scopus—
- 日本発行の科学技術雑誌の調査(1)電子ジャーナル化の調査
- 新連載：特許のいろは

情報 JOHO KANRI

Journal of Information Processing and Management
科学技術振興機構

Vol.51 No.6 September 2008

2008年9月1日発行(月刊)

年間購読定価 本体 ¥13,650(税込)

1部定価 本体 ¥1,260(税込)

●編集：編集委員会

- <委員長>水上政之(科学技術振興機構)
- <副委員長>大倉克美(科学技術振興機構)
- <編集委員>

会森 清(日本電気株)・小河邦雄(大正製薬株)・小川裕子(株日立技術情報サービス)・野坂美恵子(東京医科大学図書館)・青山幸太・安部耕造・新井 兼・井口俊夫・久保田壮一・黒田明子・黒田雅子・佐藤恵子・野田口真也・余頃祐介(以上科学技術振興機構)

発行所

独立行政法人 科学技術振興機構
研究基盤情報部

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

「情報管理」編集事務局

Tel. 03(5214)8406 Fax. 03(5214)8470

E-mail: joho-kan@jst.go.jp

<http://johokanri.jp/>

Published monthly by Japan Science and Technology Agency, Department of Advanced Databases

P.O.Box 2, Kojimachi Tokyo 102-8666 JAPAN

Annual subscription: US\$ 176.00

- ・本誌に落丁・乱丁がありました節は、まことに恐れ入りますが、最寄りの情報提供部または各支所宛に現品をご返送下さい。送料は当機構の負担で、お取り替えいたします。勝手ながら現品送付のない場合は、お取り替えいたしかねます。
- ・未着事故などのご連絡は発行後2か月以内をお願いします。以後は原則としてお受けできません。

© Japan Science and Technology Agency 2008 無断転載を禁ず